

長野原警察署協議会議事録
(令和4年度第2回定例会議)

開催日時	令和4年9月27日(火) 午後3時30分から午後4時45分まで		
開催場所	長野原警察署会議室		
出席者	委員 (定数5人)	渡辺会長 篠原委員 豊田委員 野寺委員	計4人
	警察	近藤署長 池田副署長 櫻井会計課長 早川生活安全課長 富岡地域課長 軽部刑事課長 六本木交通課長 鈴木警備課長	計8人
	その他		
議 事 の 概 要			
<p>1 治安概況説明</p> <p>署長より、刑法犯認知件数、交通事故発生状況、110番受理状況、主な事件事故の取扱状況を説明した。</p> <p>【意見・質疑等】(○～委員、●～警察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行動制限のないお盆休みで旅行客が多数訪れたため、事件事故が増加したものと思う。防犯カメラを有効活用し事件検挙をしたと聞き、カメラの重要性を感じている。カメラ映像の利用は、人権等に配慮し適正に行うことが重要である。[意見] ○ 今年は道の駅等に立ち寄る車両が大幅に増加したが、それにより側道等の進入禁止場所を無視して来るようなマナーの悪い利用客も増えてしまった。[意見] ○ 110番通報のうち「保護・救助」と「犯罪の届出」というのは何か。[質問] ● 「保護・救助」は行方不明、山岳遭難等があたる。 これからの時期は、スキー場で発生した負傷事案もこの分類に入る。 「犯罪の届出」とは、「けんか・口論」以外の犯罪被害の届出となる。[回答] ○ 先日一般人が要保護高齢者を保護し、署長から表彰を受けたと新聞で見た。 高齢者を保護し、表彰されるという大変良い事例であったと思う。[意見] ○ 高齢者福祉事業に携わっているが、地区に高齢住民が多く不安が多い。 徘徊などもあり、関係団体や住民間の協力が不可欠であると考えている。[意見] <p>2 特殊詐欺対策説明</p> <p>生活安全課長より、特殊詐欺の現状と手口、警察で行っている対策等について説明した。</p> <p>【意見・質疑等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会社のパーソナルコンピュータには、毎日のように架空請求メール等が来る。Emotetが知られているが、取引先等をかたる不審メールもたくさん来る。携帯電話のメールも気を付けなければいけないということが良く分かった。分析では、被害者は「自分は大丈夫」だと思っていたことが分かった。被害にあっても少額のため黙っている。という人が多いのかもしれない。[意見] ○ オレオレ詐欺では、娘をかたる女性の犯人もいるのか。 また、被害はどのような手口が多いのか教えてもらいたい。[質問] ● 昨年県下で娘をかたる詐欺被害があり、母親がだまされたと聞いている。 オレオレ詐欺では、どちらかというとな女性が被害に遭う傾向が高い。 			

オレオレ詐欺、キャッシュカード詐欺盗、架空料金請求が多く発生している。〔回答〕

○ 手口を詳しく教えてもらったので、今後の被害防止の参考になった。〔意見〕

○ 高齢者は、訪問者を歓迎するふしがある。

農村部では高齢者が話好きで、個人情報もいろいろと話してくれる。

ただ、近所等とのつながりは希薄であり、相談する相手はいないのが現状だ。

こういった環境から、警察の防犯対策がより重要度を増していると思う。〔意見〕

○ 人と人のつながりが減る一方で、個人主義教育により若者の罪の意識の低下がある。

スマートシティによりデータ管理、効率化優先が進んでいるが、特殊詐欺はこういった隙につけ込んでおり、悪の連鎖であると言える。〔意見〕

● 今後もあらゆる機会を通じて、高齢者の方に被害防止を働きかけるとともに、若者の規範意識の向上対策も努めてまいりたい。〔回答〕